

加賀の千代女没後250年祭開催事業

# 千代女

令和6年

10月5日<sup>土</sup>・6日<sup>日</sup>

——十七文字の翼に乗って

今から三百二十年前の  
元禄十六年（一七〇三）に  
ここ加賀国松任町（現白  
山市）に生まれ、七十三年  
の生涯におよそ一九〇〇の  
句を遺したといわれる加賀  
の千代女。十七文字を駆使  
して『俳句』という心の翼を広  
げ、時には無邪気に、時には  
鋭いまなざしで自然の営みを見  
つめ続けた千代女の息づか  
いを、間近に感じてみませんか。



西のぼる  
画

主催 | 加賀の千代女没後250年祭開催事業実行委員会 共催 | 白山市 聖興寺  
後援 | 白山ロータリークラブ あさがおテレビ 北國新聞社 問合 | 白山市文化協会 TEL.076-273-4280

公益財団法人いしかわ県民文化振興基金助成事業

10月5日(土)・6日(日) 9:00~16:00 松任学習センタープララホワイエ

## 句・書・花コラボ展、朝鮮通信使絵巻展(作:西のぼる)

白山市俳句協会会員の句を白山市書道協会会員が揮毫、そのイメージを白山市いけばな協会会員が生ける

句	書	花		
俳句	作者	書家	生け込み	流派
新涼や千代女の遺品息づきぬ	森 悦子	村上 秀康	牧野 秋勝	草月流
さやけしや時空を超ゆる千代女の句	中村 双舟	川口 玉苑	太田 幸甫	未生流
風さらり千代女墓前の萩こぼる	浜野 泰弘	石田 江雪	米永 慶子	池坊
秋蟬に続く読経千代尼の忌	辰巳 葉流	源 香仙	橋本 悦子	池坊
色鳥の高き声降る千代尼塚	山本 時子	川上 紅雨	桃井 千晶	池坊
水清き千代女の里の青棗	横山 茂樹	水戸 静琴	山本 美晴	草月流
献筆は和装の刀自や萩の風	北野 佐由子	田中 春峰	南川 美恵	小原流

10月6日(日) 14:00~16:00 松任学習センタープララホール

## 箏曲「加賀の月」白山市邦楽三曲会

作詞 石橋 令邑

作曲 中村 双葉

歌 佐藤 順子



箏本手 川畑 康子 松井 知子 中田 好美 北山 紗知子 平野 雅楽澄  
井奈 雅楽悦 柴田 雅智穂 西野 雅楽季 松田 雅楽大 河合 雅那美  
太田 久美子

箏替手 網谷 雅楽智 高島 雅楽恵 倉本 雅楽真 入口 雅楽朱 中野雅楽怜味  
本 雅奈美 村田 雅楽晶希 角田 智子 常楽 久美 清水 豊子

三絃 西川 雅富代 松田 雅楽善 辰巳 和子 木村 雅楽陽 前川 雅楽依  
岡村 雅楽清 中山 雅楽律栄 橋爪 雅楽海 油谷 雅楽葉 福田 美佐子  
田中 尚美 村本 紀美代

十七絃 南 智恵子 松木 真理 三森 雅智香

尺八 川畑 喜一 中田 訓山 松田 信山 吉田 晴甫 安田 晴雅  
倉元 正義 大窪 康充

## 挨拶

白山市長 田村 敏和 様

## シンポジウム 千代女 ~十七文字の翼に乗って~



コーディネーター  
小林 忠雄 氏

「千代女の俳句にみる  
文化的景観」

1945年白山市(旧松任町)生まれ。文学博士。石川県立歴史博物館資料課長を経て、国立歴史民俗博物館民俗研究部、東京家政学院大学人文学部大学院、北陸大学未来創造学部などで教鞭をとり、現在は加能民俗の会会長、石川県文化財保護審議委員会委員ほか要職を歴任。著書に『金沢 まちの記憶 五感の記憶』(能登印刷出版部 2009年)ほか多数。2015年金沢市文化賞受賞



パネリスト  
玉城 司 氏

「多くの俳人の中の  
千代女の立ち位置」

1953年長野市生まれ。早稲田大学大学院文学研究科日本文学専攻修了。専攻は日本近世文学(近世俳諧史)。現在は清泉女子大学人文科学研究所客員所員。著書に『蕪村句集』(角川ソフィア文庫)、『一茶句集』(同)、『NHKカルチャーラジオ 蕪村の四季』(NHK出版)。共編著に『元禄名家句集略注 上嶋鬼貫篇』、同『蝶夢全集 続』(和泉書院)等。



パネリスト  
西 のぼる 氏

「千代女が果たした  
国際交流」

珠洲市生まれ。2001年『はやぶさ新八御用旅-東海道五十三次』(平岩弓枝)、『華栄の丘』(宮城谷昌光)の挿絵で第32回講談社出版文化賞受賞。2002年千代女代表句24点に絵を添えた陶板を作成し松任学習センター中庭に展示保存。2003年千代女生誕300年祭にあたり、記念ポスター、リーフレット、『朝鮮通信使行列絵巻』、郵政事業として記念切手制作。2015年紺綬褒章受章



パネリスト  
酒師 みどり 氏

「千代と  
清水の句」

茨城県出身。茨城大学卒業。高校講師・中学校教師を経て石川県に転居。2005年から4年間加賀の千代女をテーマに金沢大学市民大学院で学ぶ。著書に『月も見て千代の句を巡る旅』(北國新聞社2010年)。2017年「加賀の千代と明月の句-朝鮮通信使献上句控を読む」で暁鳥敏奨励賞受賞



パネリスト  
小丸 隆 氏

「千代女の里俳句館と  
駅前文化ゾーン」

1943年白山市(旧御手洗村)生まれ。教職員を経て白山市内中学校校長。2002年松任市教育長に就任し、2005年に松任市ほか周辺2町5村の合併により白山市に移行後も白山市教育長として2007年まで活動。2006年千代女の里俳句館開館にともない初代館長に就任。2011年白山市文化協会結成にともない役員の要職に就任。2021年~22年白山市文化協会会長。現在は相談役

## 詩吟の集い

### 吟・舞・書「千代女の朝鮮通信使献上句を詠う」石川吟詠会

独吟	嶋田 遯岳	織田 薫風	池森 恵風		
	西東 伸岳	東野 楸岳	横川 瑤岳	谷田 琇風	北野 心岳
合吟	小谷口桂風	土田 蓉風	塩谷 泰風		
独吟	前川 翔岳	多賀 岳珠			
	中川 岳湧	酒井 岳恒	正寺 宗岳		
伴吟	吉村 岳鴻	辻 岳絢			
(企画構成)	吉村 岳鴻				
(ナレーション)	藤田 凜岳				
(尺八)	都山流 竹帥大師範	西山 閑山			
(琴)	生田流正派 大師範	林 雅楽菜			
(映像)	本野 岳耀				
(舞)	渋川流剣詩舞道 奥伝師範	本野 真月			
(書)	片桐 功風				



## 舞踊・演奏

### 「千代尼節」(白山市千代尼節保存会)



#### ■ 長唄千代尼節

立方	北川 悦子	油谷智恵子
唄	上田美智子	綿川 睦子
	西村 邦子	寺西 紀子
三味線	奥村 澄子	勝島 幸子
	辰田真知子	相川 絹子
長唄後見	小野たか子	

#### ■ 本唄千代尼節

踊り	玉屋美智子	石田 芳子
	藤井 洋子	安藤 千恵
唄	上田美智子	綿川 睦子
	西村 邦子	寺西 紀子
三味線	奥村 澄子	勝島 幸子 辰田真知子
太鼓	相川 絹子	

#### 長唄

げに見やしんせ白山の キリリと立った伊達  
模様 そめて見染めて殿町と

逢いに北町いく夜さか 金劔さまへねぎごとも  
心機新町一念は 石にもハツ屋辰巳町

ありし御縁のその日から 石同町の堅かれと  
今も今町変わりなき 名代のみやげ円八の

コロへころぶ裸館 一つ所望じゃ呉竹の  
皮に包もう子を中町に 添寝のころ安田町

いくとせめぐる春の日を 気も若返る若宮へ  
盛りの花の香を訪ね 汲む盃の花見酒

ソレ 唄わんせ千代節を 拍子揃えて  
ヨイへ コレハヨイへ

#### 本唄

貰い水だよナー 日でりでないがヨー

つるべ取られたヤレ 朝顔にテモヨイへ サテモヨー

主の声よかナー 待つほととぎすヨー

ほととぎすとてヤレ 夜があげたテモヨイへ サテモヨー

色は付いたがナー まだ渋かるかヨー

柿に思案のヤレ 初ちぎりテモヨイへ サテモヨー

とんぼ釣る子はナー どこ迄いったかヨー

賽の河原でヤレ 石を積むテモヨイへ サテモヨー

松任へとナー いつまで待とうかヨー

ただの一夜もヤレ 待てはせぬテモヨイへ サテモヨー

## 閉会挨拶

加賀の千代女没後250年祭開催事業実行委員会 委員長 浅野 昭利

9月7日(土)~10月20日(日)

事業名	主な内容	開催時間	会場
企画展「加賀の千代女の世界 -自然へのまなざし-」	千代女直筆の作品展示など	9:00~17:00	千代女の里俳句館

10月5日(土)

千代女全国俳句大会	吟行	9:00~11:30	白山市内
千代尼250回法要	千代尼史蹟保存会による250回忌法要	9:00~9:30	聖興寺
献 箏	千代尼史蹟保存会による箏曲奉納	9:30~10:00	
舞・DVD	千代尼史蹟保存会による舞の奉納と映像鑑賞	10:00~10:30	
千代女茶会(席料700円)	白山市茶道協会(福田・高田社中:裏千家)による茶会	10:00~15:00	松任学習センター プララ
千代女全国俳句大会アトラクション	声楽アンサンブル「ラムジカ」による「千代女 想作の泉」の合唱	13:00~13:15	
千代女全国俳句大会記念講演会	特別講師 井上弘美 「汀」主宰、俳人協会評議員	13:30~14:30	
千代女全国俳句大会表彰式	事前投句および当日投句の優秀者表彰	14:40~16:00	
演奏&プロジェクションマッピング	テーマ「加賀の千代女が照らすこの町の未来!」	16:30~18:00	